

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 福岡県

【学校名】 福岡県立福岡特別支援学校

【テーマ】 I II ③ III IV ⑤ V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

スポーツに興味・関心を持つとともに、他者と一緒に体を動かす楽しさを味わうための工夫。
～ボッチャ大会を通して～

【実施学年】

参加校 福岡県立（築城・福岡・太宰府・田主丸・直方）特別支援学校（5校）

中学部 第1～3学年（男子5名・女子5名）

高等部 第1～3学年（男子24名・女子9名）

【目的・ねらい】

- ・誰でも参加できるパラリンピックの正式種目「ボッチャ」を通して競技力向上とスポーツへの志向意欲を高めるとともに、広く社会参加の促進に資する。
- ・スポーツでの交流を通して生徒相互の親睦を深めるとともに、心身の健全な発達、生きがいのある豊かな生活の実現を目指す。

【種類】

・各教科（ ） ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・特別活動
（教科以外での取組）第1回福岡県立特別支援学校肢体不自由教育部門ボッチャ大会

【実践内容等】

（実施内容）

1 開会式

- ①開会宣言 ②大会会長挨拶 ③来賓紹介 ④選手宣誓 ⑤学校紹介



【大会会長挨拶】



【選手宣誓】



【学校紹介】

2 ボッチャ競技

- ①予選（全9チームを3つのリーグに分けて行った。）
②決勝（各予選リーグの1位同士、2位同士、3位同士でリーグ戦を行い、順位を決定した。）



3 閉会式

- ①成績発表 ②表彰 ③大会会長挨拶 ④閉会宣言



※その他



【氷柱・扇風機】



【メダル】



【参加賞】

(実践上の工夫点、留意点等)

- ・生徒相互の親睦を深めるため、学校紹介を行った。また、チーム編成を学校単位でなく、混成チームとした。
- ・ポッチャを授業等で実施していない学校もあったので、反則は厳密に取らず、注意事項を指導した後にやり直しをさせた。
- ・全てのチームが大会(競技)を楽しめるように4試合ずつ行った。
- ・参加意欲を高めるために、上位3チームにメダルを授与した。
- ・空調設備のない体育館での実施だったので、暑さ対策として氷柱及び扇風機(工場扇)を8箇所に設置して行った。

(成果)

- ・1試合目より2試合目、2試合目より3試合目と段々会話が増え、親睦が深まった。また、生徒だけでなく、保護者及び教員の親睦も深まった。
- ・当日知り合った仲間と協力して取り組むことで、一緒に喜んだり悔しがったりして運動を楽しむことができた。
- ・ポッチャ競技に対して興味を持ち、ぜひ来年も参加したいという声が多数あった。(特に、保護者から)
- ・「来年は練習して絶対メダルを取る」と意欲満々の生徒が多くみられた。
- ・暑さ対策によって、休憩室で休むことなく体育館で競技や応援ができ、大会が盛り上がった。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

- ・講師の派遣、手作り教材・教具の作成や購入等の必要があるため、ある程度の費用がかかる。